



東部ブロック 多職種連携研修会報告

令和7年12月11日 東部ブロック多職種連携研修世話人会



開催日時

2025年8月20日

綾瀬勤労福祉会館



講師

のぞみ在宅クリニック

医師 川田 悠 氏



参加者数

66名

テーマの選定理由

- ・ 足立区版のエンディングノート「じぶんノート」が完成。
- ・ ホウカツは「じぶんノート」を活用した老い支度講座を実施している。
どのような医療を受けたいか、どのような最期を迎えたいか、
日ごろから考えておくことが大切。

⇒医療・介護従事者として、ACPについての知識を身に付けておく必要がある。

⇒利用者の思いを関係者も共有したうえで一人一人に寄り添っていく姿勢が大切。



老い支度を勧める立場から、ACPについて学ぼう！

いつも勧めてばかりの「じぶんノート」を、実際に自分たちでも書いてみよう！

研修内容

01

講義:「老い支度」を考える～ACPについて～

- ・ACPの定義と背景
- ・ACPの目的や進め方、留意点
- ・どんなことを話し合えばいいか
- ・人生の最終段階における意思決定支援の重要性



研修内容

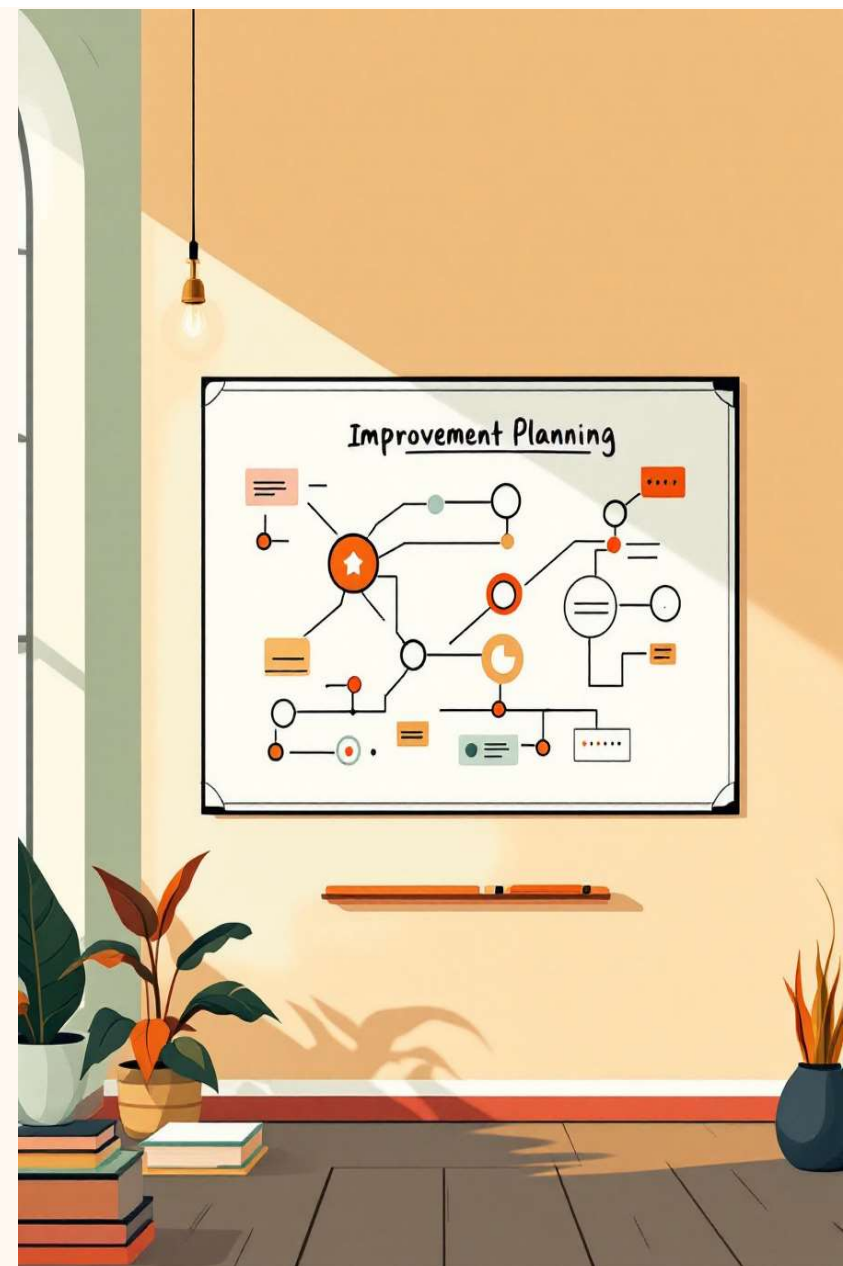
02

グループワーク:じぶんノートを書いてみよう！

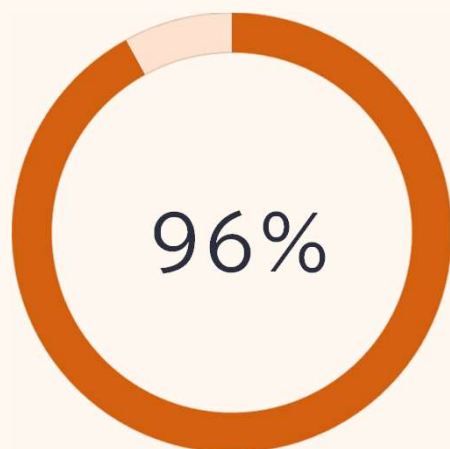
ミニ講座:「じぶんノート」の書き方について

北千住訪問看護ステーション綾瀬営業所 小西氏

- ・講義を聞いての感想共有
- ・「じぶんノート」を書いてみよう
- ・「じぶんノート」を書いてみた感想、「じぶんノート」の活用について



参加者の声



満足度

研修内容に「満足」または「大変満足」と回答

「自分自身が記入することで、患者さんの気持ちがよく理解できました。」

「ACPの具体的な進め方がわかり、現場で活用できそうです。」

「多職種で情報共有する重要性を改めて認識しました。明日から実践していきます。」

「じぶんノート」を勧める側も、ACPについて理解しておく必要があると感じました。」

「利用者さんが終末期についてきちんと判断できるよう、適切な情報提供が必要であることが分かりました。」

「実際にじぶんノートを書いてみると、家族と相談しなければ決められないこともたくさんあると気付いた。」



まとめ

本人の尊厳を守る 医療・介護の実現へ



ACPの理解と実践

本人の尊厳を守る医療・介護の基盤として、ACPの理解と実践を深めていく。



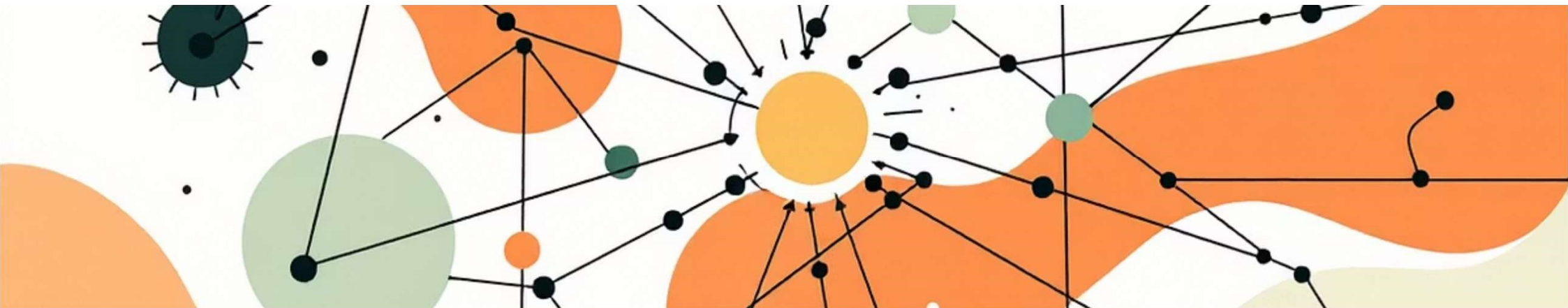
地域連携の強化

地域で支えあう体制づくりが今後ますます重要になっていく。
多職種で利用者さんの意思に寄り添っていくことが理想。



継続的な学び

今後も研修等を通じて、多職種連携の強化を目指していく。



ご清聴

ありがとうございました